

令和2年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
主管課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	本橋 直人	
		評価日	令和3年6月4日	
関連課	市民課、市民総合窓口課、協働推進課、学校教育課、社会教育課（公民館）			
目標	文化芸術を通して多様な市民の交流を図るとともに、ふじみ野市の文化的な魅力を発信することで地域の活性化につなげます。また、市民と文化芸術とをつなぐ人材や団体の育成を図ります。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 文化的な魅力の発見・発信 ○市内のアートスポットやアーティスト、ユニークな取組など、市の文化的な魅力を市民参加により発見・発信し、地域の活性化につなげます。</p> <p>(2) 文化の担い手の育成 ○次世代の文化創造を担う子どもの豊かな心や創造性を育むため、子どもの頃から文化芸術に触れる機会を充実します。 ○市民と文化芸術をつなぐコーディネーター、ボランティアなどの育成を進めます。</p> <p>(3) 文化芸術に出会う機会の提供と交流促進 ○文化芸術を通して、子育て世代、高齢者、障がい者、外国籍市民など多様な市民の交流を促進します。 ○多くの市民がいきいきと文化芸術活動に取り組める環境づくりを進めます。</p> <p>(4) 文化施設の維持管理・整備 ○市民がステラ・イースト及び産業文化センターなどを快適に利用できるよう維持管理を行います。 ○文化施設整備基本構想・基本計画及び管理運営計画に基づき、施設の整備を進めるとともに維持管理・運営の準備を進めます。</p>			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標 1	指標名	文化芸術を通して多様な人が出会う交流促進事業への参加施設・団体数					
		説明	文化芸術を通して多様な人が出会う交流事業に企画段階から参加する団体数により交流の促進度を計る。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、前年度より減少している。					
		単位	施設・団体					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	4	5	6	9	12	15
		実績値	5	16	15			
	指標 2	指標名	市民と文化芸術をつなぐコーディネーター育成数					
		説明	学校等と芸術家を結び、事業の企画・運営・実施等を芸術家とともに支援するコーディネーターを育成することにより文化芸術に触れる機会の拡充を図る。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	3	5	8	8	8	8
		実績値	0	2	2			
	指標 3	指標名	文化芸術事業への参加者数					
		説明	市民が身近な環境で参加できる文化芸術の必要性を文化事業への参加者数で計る。令和2年度は観客を入れた事業を行えなかったが、YouTubeを活用した動画の配信を行い36,097回の視聴があった。					
		単位	人					
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	4,860	5,090	5,340	5,600	5,880	6,170	
	実績値	7,100	6,090	0				
指標 4	指標名	(仮称) 東地域文化施設多目的棟整備事業の進捗率						
	説明	(仮称) 東地域文化施設多目的棟の整備事業の進捗率を指標とする。令和3年2月19日に工事が完了し、令和3年4月1日にリニューアルオープンした。						
	単位	%						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	10	40	100				
	実績値	10	40	100				
指標 5	指標名	(仮称) 西地域文化施設整備事業の進捗率						
	説明	(仮称) 西地域文化施設の整備事業の進捗率を指標とする。令和2年度は基本設計が完了し、3月から旧大井中央公民館の解体に着手した。						
	単位	事業数						
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	0.00	10.00	14.10	33.30	80.00	100.00	
	実績値	0.00	10.00	14.10				

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	45,042	115,661	1,095,839	2,089,893		
	人件費	27,319	27,946	33,396	47,181		
収入	特定財源	579	22,794	1,025,158	1,998,996		
	一般財源	71,782	120,813	104,077	138,078		

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	文化芸術による交流促進事業	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、議場コンサートなど、観客を入れて事業を開催することができないことから、動画を配信する「ふじみ野アートプロジェクト」を新規に実施し、「アートフェスタ」もライブ配信などを実施した。	YouTubeを活用して、音楽を届ける「ふじみ野アートプロジェクト」では11回動画を配信し12,698回視聴された。「アートフェスタ」でも動画配信で14,866回、ライブ配信で8,533回視聴され、文化・芸術に触れる機会を提供した。	文化振興事業
取組②	アウトリーチ事業	小中学校にアウトリーチ事業のチラシを作成し、アウトリーチ事業のPR活動を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で派遣依頼はなかった。しかしながら、アートフェスタに参加した団体の要請に応じ、吹奏楽の指導者派遣を行った。	アートフェスタに参加した2つの中学校に指導者の派遣を行うことで、次世代の文化芸術を担う子どもの豊かな心や創造性を育んだ。	文化振興事業
取組③	文化の魅力発見・発信	アート発見・発信プロジェクトとして市民との協働により「ART88vol.6」を発行した。また、本庁舎のギャラリー及び大井総合支所の展示スペースの貸出しを行った。	市内に埋もれているアートプレイスやアーティストを市民目線で継続的に掘り起こし発信するとともに、小中学校、包括連携協定を締結している大学等に作成した冊子を配付することで、市の魅力を高め、地域の活性化につながる効果を生み出した。	文化振興事業
取組④	文化芸術活動未来応援事業	市内の若手芸術家やアーティスト等の自主的・創造的な文化芸術活動を支援し、乳幼児からシニア、障がいのある方まで、全ての世代を対象とする文化芸術事業を提供する。	令和2年度は、5事業を採択したが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、中止とした。実施団体と調整を行い、4事業は令和3年度に実施する予定で、市民が気軽に文化芸術に親しめる機会を提供する。	文化振興事業
取組⑤	文化施設の整備	令和2年4月からステラ・イースト多目的棟の大規模改修工事に着手し令和3年2月に工事が完了した。また、(仮称)西地域文化施設、(仮称)東地域文化施設ホール棟の基本設計が完了し、令和3年3月から旧大井中央公民館の解体に着手した。	ステラ・イースト多目的棟を大規模改修し、(仮称)西地域文化施設及び(仮称)東地域文化施設ホール棟を建替えることで、文化と人の交流拠点を提供する。	文化施設整備事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	令和2年度は新型コロナウイルス感染症が拡大している中で、事業実施方法について検討を行い、YouTubeを活用して動画を配信する「ふじみ野アートプロジェクト」を新規事業として行った。また、「アートフェスタふじみ野」についても動画やライブ配信を行うなど、状況に応じた事業展開を開催することで、文化芸術に触れる機会やコミュニティづくりの機会を提供している。
行政資源の活用	今後は、感染症対策や事業規模を見直しするなど事業の実施に向けた検討を行うとともに、新型コロナウイルス感染症終息後には、ステラ・イーストを拠点としたワークショップや質の高いホール事業を展開することで、文化芸術事業を担う人材やボランティアスタッフを育成し、地域に根ざした文化芸術活動を展開することで、地域の活性化につなげる。
取組の有効性	文化施設の整備については、令和2年2月にステラ・イースト多目的棟の大規模改修工事が完了し、令和3年4月から文化と生涯学習の拠点として、多くの方に利用されている。また、(仮称)西地域文化施設及び(仮称)東地域文化施設ホール棟の基本設計が完了した。市民が集まり、賑わいのある文化と人の交流拠点となる施設の整備を進めることで、未来につながる文化を創造するまちを目指す。
効果の持続性	
効果が得られている	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		勤労福祉センター管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～			
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通じ、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立勤労福祉センター条例・ふじみ野市立勤労福祉センター管理運営規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	勤労者その他の市民の教養、文化の向上と福祉の増進に寄与する。			
	事務事業の経緯	昭和55年勤労福祉センター開館以来、事務事業の目的達成のための施設の維持・管理に努めている。			
	事務事業の概要	ふじみ野市立勤労福祉センター条例第1条に施設の施設設置目的を達成するため、施設運営と維持管理を行う。			
	令和2年度の主な取組	上福岡公民館・コミュニティセンターの大規模改修により安全確保の観点から1年間休館。ただし、設備等の老朽化が進み日常の保守管理が必須であるため、定期的にメンテナンス作業をして再開館に向けて施設の維持管理を実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.50	0.00
		人件費	3,989	4,029	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.00	0.00
		人件費	385	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,374	4,029	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	889	4,041	0	
	委託料	29,144	10,251	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	35	29	0		
支出合計		34,442	18,349	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1,553	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		32,889	18,349	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		288	158	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	利用人数（集会室含む）		
	説明	上福岡公民館・コミュニティセンター大規模改修工事に伴い、工事中の事故等防止の為、勤労福祉センターの貸出は休止中。令和3年4月から文化スポーツ振興課所管施設の「ふじみ野ステラ・イースト」として貸出再開予定。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	35,000	0	0
	実績値	34,196	0	
指標 2	指標名	貸出件数（集会室含む）		
	説明	上福岡公民館・コミュニティセンター大規模改修工事に伴い、工事中の事故等防止の為、勤労福祉センターの貸出は休止中。令和3年4月から文化スポーツ振興課所管施設の「ふじみ野ステラ・イースト」として貸出再開予定。		
活動	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	500	0	0
	実績値	443	0	
指標 3	指標名	ホール利用率		
	説明	上福岡公民館・コミュニティセンター大規模改修工事に伴い、工事中の事故等防止の為、勤労福祉センターの貸出は休止中。令和3年4月から文化スポーツ振興課所管施設の「ふじみ野ステラ・イースト」として貸出再開予定。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	25.00	0.00	0.00
	実績値	18.90	0.00	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>◆勤労福祉センターの概要 【定員（収容人数）】ホール 598名 集会室 70名 計 668名 【施設提供】 598席のホールを持ち、コンサートから演劇、講演会、発表会まで、芸術・文化の各種多様な催し物に利用される多目的ホール。集会室はサークル、クラブ活動などの打ち合わせ、研究会などに利用されている。 【開館時間】 午前9時～午後10時</p> <p>◆施設の利用状況 【令和2年度】休館</p> <p>◆施設管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤労福祉センター外壁露出配管給水管漏水緊急修繕 128,700円 ・勤労福祉センター揚水ポンプメカニカルシール緊急交換修繕 84,700円 ・勤労福祉センター揚水ポンプ圧力タンク緊急交換修繕 74,800円 ・防排煙設備感知器交換及び客席誘導灯器具交換緊急修繕 48,444円 ・勤労福祉センター非常照明灯器具及び避難口誘導灯器具交換修繕 157,520円 ・勤労福祉センター屋内消火栓ホース交換緊急修繕 97,900円 ・機械警備機器移設業務委託 409,200円

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
完了	隣接する上福岡公民館・コミュニティセンター大規模改修が終了し、令和3年4月から文化スポーツ振興課所管施設の「ふじみ野ステラ・イースト」として貸出再開となる。
中長期的方向性	
完了	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	文化振興事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通じ、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和3年6月1日	
個別計画根拠法令・条例等	文化芸術振興基本法、文化・スポーツ振興条例、絵画等展示要綱、後援等承認手続きに関する要綱、文化振興計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	全ての市民を対象に、身近な環境のなかで文化・芸術等に触れる機会を提供するとともに文化活動の環境整備を図り、市民の自主的・創造的な文化活動を推進し活力ある地域社会の実現をめざす。また、老朽化した公民館等の文化施設の整備を進めるため「文化施設整備基本構想・基本計画」及び「文化施設管理運営計画」を策定する。		
	事務事業の経緯	平成26年度より文化振興事業の主管課を協働推進課から文化・スポーツ振興課に移管し、平成27年10月1日「ふじみ野市文化・スポーツ振興条例」を制定した。また、平成28年度に「ふじみ野市文化振興計画」を策定し、文化振興審議会へ施策の具現化に向けた諮問を行いながら、文化振興施策を総合的に展開している。		
	事務事業の概要	①平成28年度に策定した文化振興計画に基づき、文化振興事業に取り組む。 ②平成29年度文化振興審議会の答申「文化芸術振興の財源確保の在り方及びその効果的な活用」を受け具体的な制度を構築するため、平成30年度も文化振興審議会へ「文化振興に係る助成制度のあり方について」を諮問し、4回にわたる審議を経て「文化芸術振興未来応援事業」として答申を受け、令和元年度から文化芸術振興の新たな助成制度を構築した。 ③市民の文化活動支援の一環として市民に公共施設展示スペースを貸出し、発表の場を提供する。		
	令和2年度の主な取組	新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、「ロビーコンサート」や「議場コンサート」、「アートフェスタ」などの事業について、観客を入れて開催することができないことから、YouTubeを活用して、音楽を届ける「ふじみ野アートプロジェクト」や「アートフェスタ」はオンライン配信、ライブ配信を実施した。アート発見発信プロジェクトはオンライン会議など感染症対策を図り冊子を取りまとめた。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.80	0.50	0.80
		人件費	6,383	4,029	6,446
	再任用職員	従事人数(人)	0.80	0.40	0.70
		人件費	3,076	2,121	3,711
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.49	1.00
	人件費	0	1,036	2,736	
	人件費計	9,459	7,186	12,893	
事業費	報酬※	375	1,002	2,206	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	2,033	250	1,025	
	委託料	10,212	1,506	6,604	
	使用料及び賃借料	538	426	607	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	307	17	907	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	715	1,336	1,947		
	支出合計	23,641	10,687	23,453	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	725	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	46	259	86
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	300	55	3,170
		その他	180	23	1,588
	一般財源	23,115	9,625	18,609	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		202	83	162	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	文化芸術を通して多様な人が出会う交流促進事業への参加施設・団体数		
	説明	文化芸術を通して多様な人が出会う交流事業に企画段階から参加する団体数の数により交流の促進度を図る。交流促進事業に参加、協力等を行う企業・団体等の数を指標としている。令和2年度はアートフェスタ参加団体数。 ※将来構想施策指標		
活動	単位	団体		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	5	6	9
	実績値	16	15	
指標 2	指標名	文化芸術事業への参加者数		
	説明	市民が参加した文化芸術事業の参加者数。(前年度比5%増を目標値とする)令和元年度は、前年度目標値の5%増を大きく上回ったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて事業を行うことができなかった。観客を入れた事業は行えなかったが、36,097回の視聴があった。 ※将来構想施策指標		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	5,090	5,340	5,600
	実績値	6,090	0	
指標 3	指標名	市民と文化芸術をつなぐコーディネーター育成数		
	説明	学校等と芸術家を結び、事業の企画・運営・実施等を芸術家とともに支援するコーディネーターの育成数を指標とした。※平成30年度に新規で設定した指標。 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて育成数を増やすことはできなかったが、引き続き指標を目標に育成を図っていく。※将来構想施策指標		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	5	8	8
	実績値	2	2	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、観客を入れた事業実施が難しい状況であり、また、コンクールなどが開催されなかったため、発表の場も失われたことから、YouTubeを活用した動画の配信を行った。</p> <p>(1) アートフェスタふじみ野2020(実行委員会への委託事業として実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施団体：ふじみ野市音楽家協会、包括連携協定大学等(文京学院大、尚美学園大学)、ふじみ野高等学校、大井中学校、福岡中学校、大井東中学校、花の木中学校、大井西中学校、ビバホーム埼玉大井店他 ・実施日時：動画配信 12月1日(火)～25日(金) 視聴回数 14,866回 ライブ配信 12月20日(日) 視聴回数 8,533回(録画再生含む) <p>(2) ふじみ野アートプロジェクト 総再生回数 12,698回 チャンネル登録者数 274回</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自作チェンバロ&ジャズフルート ②Sop水野有貴、Pt篠宮久徳 ③ピアニスト伊藤正騎 ④Sop末智子、篠宮久徳 ⑤ピアニスト古川雅子 ⑥マルチピアニスト畑奉枝 ⑦オペラ・リリカふじみ野 ⑧シンガーソングライター中村友美 ⑨Sop&プサルタ奏者Angiu、Pt篠宮久徳 ⑩ピアノ連弾 ピアニスト雨宮知代梨×ピアニスト杉淵裕子 ⑪フルートアンサンブル フラウテファミリア <p>(3) アート発見発信プロジェクト(Vol.6)</p> <p>市内で活躍する仏師、表具師、デザイン書道、アーティストなどを市民メンバーが取材し冊子に取りまとめた。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	平成30年度から始まった「ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030」の取組みと「ふじみ野市文化振興計画」を連動させ施策を体系的に実施し、実績をあげることで将来構想を着実に実行していく。
中長期的方向性	今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、観客を入れた事業を実施することができなかったが、YouTubeを活用して文化芸術に触れる機会を初めて提供し、多くの視聴回数があった。来年度は、アートフェスタ事業、アウトリーチ事業など感染症対策を図ることで、事業が行えるよう準備を進める。また、市の魅力の発信・活用として、アート発見発信プロジェクト、市民ギャラリー活用事業など、様々な文化芸術事業を通し、文化の次世代への継承と市民文化の醸成を推進し、新たな文化施設活用への基盤づくりと市民の心の豊かさ、元気健康づくりにつなげる。
拡充	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	文化施設整備事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	平成30年度～	評価日	令和3年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	文化芸術基本法、文化・スポーツ振興条例、文化振興計画、ふじみ野市文化施設等の整備に係る方針、ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画、ふじみ野市文化施設管理運営計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	同規模のホールを有する複数の公民館等の文化施設が耐震性の不足、躯体の老朽化、ホールの特定天井など市民の文化活動施設として早急に整備することが求められており、複合化、改築、大規模改修等の整備方針及び整備手法を「ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画」としてまとめ、整備事業を推進するものである。		
	事務事業の経緯	政策分野において、平成22年9月「公共施設適正配置計画」策定後、平成28年度「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」、平成29年度「文化施設等の整備に係る方針」、「公共施設適正配置計画の検証結果及び施設整備・維持管理の今後の方針」などを策定し、それらの方針を受け、令和元年6月に「文化施設基本構想・基本計画」、令和2年3月に「文化施設管理運営計画」を策定した。		
	事務事業の概要	平成28年度に実施した「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」及び平成29年度「文化施設等の整備に係る方針」に基づき、平成30年度に整備内容の検討を行い、最終的に大井中央公民館（大井図書館含む）、勤労福祉センターについては建て替え、上福岡公民館・コミュニティセンターは大規模改修を行う。 また、整備した文化施設の管理運営の指針となる「文化施設管理運営計画」を令和2年3月に策定したことから、計画に基づき文化施設の維持管理及び運営の準備を進める。		
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ステラ・イースト多目的棟大規模改修工事（令和2年4月1日～令和3年2月19日） 令和2年4月1日から、旧上福岡公民館・コミュニティセンターの大規模改修工事に着手し、DIYルームや音楽スタジオなど新たな機能を備えたステラ・イーストの整備を行った。 ・（仮称）西地域文化施設の整備（令和2年5月～令和5年6月） 6月に特定事業契約の本契約が成立した。5月～12月にかけて、整備に向けた協議を行い、令和3年1月に基本設計が完了した。同年3月からは旧大井中央公民館の解体に着手し整備を行っている。 ・文化施設設置条例の制定 令和2年9月議会で「ふじみ野市立文化施設条例」を制定した。 		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.10	1.60	1.60
		人件費	8,776	12,892	12,892
	再任用職員	従事人数(人)	1.20	1.50	1.20
		人件費	4,613	7,952	6,362
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.46	0.00	0.00
	人件費	724	0	0	
	人件費計	14,113	20,844	19,254	
事業費	報酬※	300	0	0	
	賃金※	794	0	0	
	需用費	254	1,249	303	
	委託料	70,691	50,230	37,423	
	使用料及び賃借料	1	0	10	
	工事請負費	0	744,084	1,962,328	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	96	276,023	49		
	支出合計	85,525	1,092,430	2,019,367	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	353,094	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	20,000	595,000	1,489,900
		基金	715	74,643	496,741
		その他	0	0	0
	一般財源	64,810	69,693	32,726	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		567	600	286	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	(仮称) 東地域文化文化施設多目的棟整備事業の進捗率		
	説明	・ (仮称) 東地域文化施設多目的棟の整備事業の進捗率を指標とする。(事業費の割合から進捗率を算出)		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	40.00	100.00	0.00
	実績値	40.00	100.00	
指標 2	指標名	(仮称) 西地域文化施設整備事業の進捗率		
	説明	・ (仮称) 西地域文化施設の整備事業の進捗率を指標とする。(事業費の割合から進捗率を算出)		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	10.00	14.10	33.30
	実績値	10.00	14.10	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>(1) ステラ・イースト多目的棟大規模改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ①改修期間 令和2年4月1日～令和3年2月19日 ②新たな機能等 DIYルームやキッズルーム、音楽スタジオ、ダンススタジオなど新たな機能を設けた。 ③安全対策 歩行者と車両の動線を分け、新型コロナウイルス感染症対策として網戸を設置した。また、停電時にも電気が利用できる部屋や断水時には受水槽から直接水を利用できるなど災害拠点としての機能も強化した。 <p>(2) (仮称) 西地域文化施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特定事業契約 5月に文化施設整備事業に係る特定事業契約の仮契約を締結し、6月議会において契約議決を受け本契約が成立した。 ②基本設計 5月～12月にかけて、整備に向けた協議を行い、令和3年1月に基本設計が完了した。 ③拡張用地の取得 令和元年9月に売買予約契約を締結した拡張用地について、令和2年11月に売買契約を締結した。 ④中央公民館の解体工事 令和3年3月からは旧大井中央公民館の解体に着手した。 <p>(3) ふじみ野市立文化施設条例</p> <ul style="list-style-type: none"> ①名称 ふじみ野ステラ・イースト ②位置 ふじみ野市福岡一丁目1番8号 ③設置目的 市民の文化芸術の振興及び生涯学習に関する活動の推進並びに市民相互の交流の促進を図り、もって市民文化の発展に資するため、ふじみ野市立文化施設を設置する。
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	老朽化した公民館等の文化施設を市民の生涯学習活動、市民活動、文化芸術活動、コミュニティ活動の拠点施設とするため、昨年度策定した文化施設基本構想・基本計画に基づき、文化施設整備事業の第1弾として、旧上福岡公民館・コミュニティセンターの大規模改修工事を行った。また、(仮称) 西地域文化施設については、5月から12月にかけて基本設計に着手し、令和3年1月に完了した。
中長期的方向性	令和3年度は、西地域文化施設の実施設計を行うとともに、令和3年10月までに旧大井中央公民館の解体を行い、令和5年8月(ホール棟は10月)のオープンに向けて整備を進める。
拡充	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		文化施設管理運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～			
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課		市民活動推進部 文化・スポーツ振興課		評価責任者	吉村 敏世
事務事業期間		令和2年度～		評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		文化芸術基本法、文化・スポーツ振興条例、文化振興計画、ふじみ野市立文化施設条例、ふじみ野市文化施設管理運営計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	文化芸術、生きがい学習、生涯学習の拠点として、市内全域からたくさんの方が集まり、「行ってみたい楽しかった」「また行きたい」と感じられる「ふじみ野の文化と人の交流の拠点」として施設の運営維持管理を行う。			
	事務事業の経緯	平成30年度から産業文化センターの管理が産業振興課から文化・スポーツ振興課に移管された。また、令和3年2月19日にふじみ野ステラ・イースト多目的棟の大規模改修工事が完了し、令和3年4月から文化・スポーツ振興課で施設の管理を行う。			
	事務事業の概要	産業文化センターは平成21年度に指定管理者制度を導入し施設の運営管理を行っている。毎月1回モニタリングを行い施設管理及び事業実施状況の点検等を行っている。令和3年度からは、大規模改修工事でリニューアルしたステラ・イーストの維持管理を行う。			
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 産業文化センター 毎月1回行っているモニタリングを通して、施設の維持管理及び事業実施の状況の確認を行う。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、緊急事態宣言等に対応した運営を行った。 ステラ・イースト 令和3年4月のリニューアルオープンに向けて、公共施設予約システムの改修や受付体制の整備、備品の設置、維持管理企業との調整などを行った。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.00	0.10	1.80
		人件費	0	806	14,503
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.10	0.10
		人件費	0	531	531
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		0	1,337	15,034	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	2,859	12,562	
	委託料	0	2,528	65,738	
	使用料及び賃借料	0	0	300	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	9	620		
支出合計		0	6,733	94,254	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	1,273	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	7,427
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	86	84
一般財源		0	5,374	86,743	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		0	46	757	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	(仮称) 東地域文化施設多目的棟施設利用者数		
	説明	改修前の上福岡公民館・コミュニティセンターの利用者数(51,913人)から毎年1%増加の増加を目指していく。 ※地域再生計画目標値(目標最終年:令和6年度)		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	52,413
	実績値	0	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○産業文化センター <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策 令和2年3月から5月まで全館を休館するとともに、6月以降は、利用人数を制限しつつ感染症対策を徹底して自主事業及び貸館等を実施し、市民文化の向上及び産業の振興に努めた。 ・施設修繕 <ul style="list-style-type: none"> 排水施設修繕 499,400円 会議室空調機修繕 1,793,000円 暗幕等修繕 572,000円 ○ステラ・イースト <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルオープンに向けた準備 令和3年4月のリニューアルオープンに向けて、運営に必要な備品等の整備を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の対策としてガイドラインの作成を行う。 ・施設の維持管理 多目的棟については、「ふじみ野市文化施設整備事業」で選定されたSPCが施設の維持管理(日常清掃を除く)を行う。ホール棟は、多目的棟と一体的に管理することで効率的かつ安全に施設管理が行えることから、令和2年12月議会で債務負担行為を設定し、SPCの施設維持管理企業に施設の維持管理を委託する。 ・内覧会 令和3年3月28日にオープニングセレモニーを行い、28日から31日までは内覧会を実施した。 参加人数 267人

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	平成30年度から産業文化センターの管理が、文化・スポーツ振興課に移管され、令和3年度からはステラ・イースト(旧上福岡公民館・コミュニティセンター、勤労福祉センター)を管理する。 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、通常通りの施設運営ができない中、検温や消毒を徹底するなど感染症拡大防止対策を図りながら、文化芸術、生きがい学習、生涯学習を行うための「ふじみ野の文化と人の交流拠点」として、文化や学びに触れる環境を提供する。
中長期的方向性	
拡充	